

第五次宮崎市総合計画 前期基本計画の成果指標(案)

基本目標	重点項目	重点目標			主要施策	KPI					
		名称	現況値	目標値		名称	現況値	目標値			
1 良好な生活機能が確保されている都市(まち)	1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」	○「子育てしやすい地域である」と思う人の割合	66.3% (2017)	75.0% (2022)	1 結婚サポートや出産ケアの充実	○市が支援する独身男女の交流会等の延べ参加者数	96人 (2016)	120人 (2022)			
						○産婦健診受診率	-	80.0% (2022)			
						○特定不妊治療費助成件数	332件 (2016)	345件 (2022)			
			○合計特殊出生率	1.61 (2015)		1.66 (2022)	2 乳幼児等の健康の保持と増進	○母子保健相談延べ支援件数	2,819件 (2016)	3,000件 (2022)	
								3 幼児教育・保育サービスの提供	○保育所等の待機児童数	28人 (2016)	0人 (2022)
		4 子育てで家庭への生活支援と相談機能の充実	○ファミリー・サポート・センターの活動件数	2,656件 (2016)	2,977件 (2022)	○ファミリー・サポート・センターの援助会員数	598人 (2016)	810人 (2022)			
				○地域子育て支援センターの延べ利用者数	140,265人 (2016)		157,308人 (2022)	○障がい児相談支援延べ利用者数	1,415人 (2016)	2,676人 (2022)	
									○学習支援事業参加者数	115人 (2016)	165人 (2022)
										5 子どもの居場所の確保	○児童クラブの待機児童数
				2 2025年問題に対応した「医療・福祉の充実」	○医療サービスに満足している人の割合		53.5% (2017)	59.0% (2022)	1 地域医療サービスの確保	○病院・診療所の管理運営基準適合率	89.5% (2016)
56.9% (2017)	71.9% (2022)	2 健康危機管理体制の確立	○災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)への登録職員数			2人 (2016)	14人 (2022)				
○三大疾病による死亡率	56.2% (2015)		52.7% (2022)			3 健康づくりの推進	○胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5つのがん検診の平均受診率	7.9% (2016)			14.0% (2022)
			○特定健診受診率				23.6% (2016)	27.0% (2022)			
			○歯周疾患検診受診率				6.6% (2016)	9.5% (2022)			
			○自殺死亡率(対人口10万人)				16.4 (2015)	14.9 (2022)			

宮崎市地方創生総合戦略の成果指標(案)

資料1-2

基本目標	重点項目	名称	重点目標				主要施策	KPI					
			現況値		目標値			名称	現況値		目標値		
			現行	改訂案	現行	改訂案			現行	改訂案	現行	改訂案	
I 良好な生活機能を確保する	1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」	●「子育てしやすい地域である」と思う人の割合	66.8% (2012)	66.3% (2017)	75.0% (2018)	69.8% (2019)	1-1 結婚サポートや出産ケアの充実	●産婦健診受診率	-	-	78.5% (2019)		
								○特定不妊治療費助成件数	405件 (2014)	332件 (2016)	360件 (2019)	345件 (2019)	
			1-2 乳幼児等の健康の保持と増進	○乳幼児医療費助成事業の継続	継続 (2014)	継続 (2016)	継続 (2019)						
				●母子保健相談延べ支援件数	252件 (2014.7~2015.3)	2,819件 (2016)	320件 (2019)	3,000件 (2019)					
			1-3 幼児教育・保育サービスの提供	●保育所等の待機児童数	64人 (2015)	28人 (2016)	0人 (2019)						
				○潜在保育士の再就職者数【累計】	-		120人 (2017~2019)	30人 (2017~2019)					
			1-5 子育てで家庭への生活支援と相談機能の充実	○ファミリー・サポート・センターの活動件数	2,634件 (2014)	2,656件 (2016)	3,134件 (2019)	2,839件 (2019)					
				○ファミリー・サポート・センターの援助会員数		598人 (2016)		732人 (2019)					
				●地域子育て支援センターの延べ利用者数	131,842人 (2014)	140,265人 (2016)	353,556人 (2019)	167,640人 (2019)					
				●障がい児相談支援延べ利用者数	1,248人 (2014)	1,415人 (2016)	2,150人 (2019)	2,304人 (2019)					
1-4 学校教育・放課後児童対策の充実	●児童クラブの待機児童数	328人 (2016)	251人 (2017)	200人 (2019)									
	○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合	-	42.0% (2016)	40.0% (2019)	43.0% (2019)								
2 2025年問題を見据えた「医療・福祉の充実」	○医療サービスに満足している人の割合	○「いつまでも在宅で生活したい」と思う人の割合	45.1% (2014)	53.5% (2017)	50.0% (2019)	56.0% (2019)	2-1 高次医療サービスの提供	●宮崎市医師会病院の移転支援の実施	実施				
			65.4% (2013)	56.9% (2017)	70.0% (2019)	62.9% (2019)		2-2 地域医療サービスの確保	○夜間急病センター開設日数	365日 (2014)	365日 (2016)	365日 (2019)	366日 (2019)
									●特定健診受診率	22.8% (2013)	23.6% (2016)	35.0% (2019)	25.5% (2019)
							○胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5つのがん検診の平均受診率		7.9% (2016)		11.0% (2019)		

※ ●は、みやざき共創都市圏ビジョンに設定している指標。
 ※ 下線は、あらたに総合戦略に設定した指標。

基本目標	重点項目	重点目標			主要施策	KPI		
		名称	現況値	目標値		名称	現況値	目標値
					4 地域包括ケアシステムの確立	○ 自立支援型地域ケア会議に諮るケアプラン件数	-	288件(2022)
					○ 認知症サポーター養成者数	7,624人(2016)	7,000人(2022)	
					○ 一般介護予防事業参加者数	46,650人(2016)	67,500人(2022)	
					5 障がい者の自立と社会参加の促進	○ 障がい者相談支援延べ利用者数	6,827人(2016)	10,020人(2022)
						○ 障がい福祉サービスの支給決定者数	3,984人(2017)	5,085人(2022)
						○ 就労継続支援B型事業所の平均工賃額(月額)	18,964円(2016)	21,000円(2022)
						○ 就労移行支援事業の利用者数	2,123人(2016)	3,048人(2022)
					6 社会保障の確保	○ 1人あたりの診療費(国民健康保険)	278,519円(2016)	328,000円(2022)
						○ ジェネリック医薬品の使用率	75.1%(2016)	82.5%(2022)
		○ 生活保護受給者で就労可能な者のうち就労支援事業に参加した者の割合	30.1%(2016)	42.0%(2022)				
		3 自然環境の保全と生活の質の向上を図る「居住環境の充実」	○ 居住環境に満足している人の割合	72.3%(2017)	75.0%(2022)	1 既存ストックの有効活用	○ 市営住宅の高度のバリアフリー化率	32.5%(2016)
○ 空き家バンク登録件数【累計】	0件(～2016)						110件(～2022)	
○ 2013年度総排出量(3,401千t-CO ₂)を基準とする温室効果ガス排出削減率	3.2%(2014)			13.8%(2022)	○ 耐震診断補助件数【累計】	317戸(～2016)	480戸(～2022)	
					○ 耐震改修工事補助件数【累計】	45戸(～2016)	120戸(～2022)	
					2 公園・緑地の確保	○ 市民1人当たりの都市公園面積	23.39㎡/人(2017)	23.49㎡/人(2022)
					3 スマートシティの取組の推進	○ 太陽光発電設備導入容量(10kW未満)	56,667kW(2016)	80,020kW(2022)
○ みやざきエコアクション認証登録事業者数【累計】	180事業者(～2016)		210事業者(～2022)					
4 自然環境の保全					○ 公共用水域環境基準(BOD)達成率	100%(2016)	100%(2022)	
					○ 植林面積	123ha(2016)	238ha(2022)	
					○ 伐採面積	309ha(2016)	340ha(2022)	
					○ 環境学習パートナー派遣回数	20回(2016)	33回(2022)	
5 廃棄物対策の推進				○ 市民1人1日あたりのごみ排出量	970g(2016)	953g(2022)		
				○ 事業系一般廃棄物収集運搬業許可業者契約件数	11,100件(2016)	11,880件(2022)		
6 暮らしの安全・衛生の確保				○ 青色回転灯防犯パトロール活動団体数	38団体(2016)	53団体(2022)		
				○ 交通事故発生件数	4,150件(2016)	3,550件(2022)		
				○ 食品事業者等の開催する講習会への講師派遣回数	51回(2016)	54回(2022)		

基本目標	重点項目	重点目標				主要施策	KPI											
		名称	現況値		目標値		名称	現況値		目標値								
			現行	改訂案	現行			改訂案	現行	改訂案	現行	改訂案						
						2-3 地域包括ケアシステムの構築	● 地域ケア会議の開催数	74回(2014)	101回(2016)	93回(2019)	90回(2019)							
							○ 自立支援型地域ケア会議に諮るケアプラン件数		-		192件(2019)							
							● 全地域への生活支援コーディネーターの配置数	-	13人(2016)	13人(2019)								
							○ 認知症サポーター養成者数【累計】	17,406人(2014)	12,840人(2015～2016)	25,000人(2017)	33,840人(2015～2019)							
							2-4 障がい者の自立と社会参加の促進	● 障がい者相談支援延べ利用者数	5,660人(2014)	6,827人(2016)	11,844人(2019)	8,652人(2019)						
								○ 障がい福祉サービスの支給決定者数	3,409人(2014)	3,984人(2017)	4,230人(2019)	4,392人(2019)						
								○ 就労継続支援B型事業所の平均工賃額(月額)	18,320円(2015)	18,964円(2016)	21,500円(2019)	20,000円(2019)						
							3 生活の質の向上と移住の促進を図る「居住環境の充実」						3-1 既存ストックの有効活用	● 空き家バンク登録件数【累計】	-	0件(2015～2016)	1,000件(2015～2019)	50件(2015～2019)
														● 協働で行われている事業の数		309事業(2016)		315事業(2019)
														● 移住センターが関与した移住世帯の3年後の定着率		-		70.0%(2019)
														3-2 スマートシティの取組の推進	● 太陽光発電設備導入容量(10kW未満)	46,632kW(2014)	56,667kW(2016)	66,233kW(2019)
○ みやざきエコアクション認証登録事業者数【累計】	166事業者(2014)	180事業者(～2016)	230事業者(2019)	195事業者(～2019)														
3-4 環境保全の推進	● 市民1人1日あたりのごみ排出量	983g(2014)	970g(2016)	983g(2019)	962g(2019)													
	● 公共用水域環境基準(BOD)達成率	100%(2014)	100%(2016)	100%(2019)														
	○ 宮崎県産材関連事業を活用した住宅戸数【累計】	21棟(2014)	28棟(2015～2016)	100棟(2015～2019)														
	○ 植林面積	154ha(2014)	123ha(2016)	170ha(2019)														
						○ 伐採面積								326ha(2014)	309ha(2016)	340ha(2019)		

※ ●は、みやざき共創都市圏ビジョンに設定している指標。
 ※ 下線は、あらたに総合戦略に設定した指標。

基本目標	重点項目	重点目標			主要施策	KPI						
		名称	現況値	目標値		名称	現況値	目標値				
4 災害に強く、暮らしを支える「生活基盤の充実」	○「防災体制が整っている」と感じている人の割合	33.9% (2017)	40.0% (2022)	1 防災機能の充実	○ 犬猫に関する苦情件数	1,065件 (2016)	750件 (2022)					
					○ 一時避難ビルの指定数	262件 (2016)	290件 (2022)					
					○ 土砂災害ハザードマップ整備率	42.7% (2016)	100% (2022)					
					○ 企業との災害協定締結数	60件 (2016)	85件 (2022)					
					2 消防・救急体制の充実	○ 119番通報入電から救急出動指令までの時間	120秒 (2016)	100秒 (2022)				
						○ 応急手当受講者数	20,096人 (2016)	20,000人 (2022)				
						○ 防火管理者の選任率	91.2% (2016)	93.5% (2022)				
						○ 住宅用火災警報器の作動点検率	39.6% (2017)	60.0% (2022)				
					3 生活インフラの維持・整備	○ 水道管路(口径150mm以上)耐震化率	37.3% (2016)	41.0% (2022)				
						○ 重要路線内の要改善老朽下水道管さよ改善率	23.6% (2016)	63.4% (2022)				
						○ 公設合併処理浄化槽設置基数	1,204件 (2016)	2,100件 (2022)				
					2 良好な地域社会が形成されている都市(まち)	1 地域に愛着や誇りをもつ「みやざきっ子の育成」	小学生 89.5% 中学生 76.2% (2016)	小学生 94.0% 中学生 82.0% (2022)	1 学力向上の取組の推進	○ 全国学力・学習状況調査において、平均正答率が全国水準以上の教科区分の割合	100% (2016)	100% (2022)
										○ 情報教育アドバイザーの小学校への派遣回数	3,506回 (2016)	3,600回 (2022)
										○ 読書が好きな児童生徒の割合	小学生 77.7% 中学生 66.4% (2016)	小学生 80.1% 中学生 69.0% (2022)
2 健やかな心身の育成	○ 困っている人を助けたい・人に親切にしたいと思う児童生徒の割合	小学生 95.2% 中学生 95.1% (2016)	小学生 96.1% 中学生 96.1% (2022)									
	○ 不登校児童生徒の割合	1.31% (2016)	1.30% (2022)									
	○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、平均値が全国水準以上の調査項目の割合	79.4% (2016)	85.2% (2022)									
3 特別支援教育の充実	○ 朝食を食べる児童生徒の割合	小学生 95.5% 中学生 95.2% (2016)	小学生 98.0% 中学生 98.0% (2022)									
	○ 授業スタッフ、スクールサポーター、生活・学習アシスタントの配置人数	122人 (2016)	136人 (2022)									
4 教職員の資質の向上	○ 市の研修を受講後、学校で研修成果を生かした教職員の割合	65.0% (2017)	80.0% (2022)									
5 教育環境の充実と学校施設の活用	○ 小・中学校の体育館照明器具の耐震化率	17.0% (2016)	47.0% (2022)									
	○ 小・中学校のトイレの洋式化率	33.1% (2016)	39.0% (2022)									
	○ 小・中学校の超高速インターネットの整備率	97.3% (2016)	100% (2022)									
6 地域と学校との連携の推進	○ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合	42.0% (2016)	44.5% (2022)									

基本目標	重点項目	重点目標				主要施策	KPI							
		名称	現況値		目標値		名称	現況値		目標値				
			現行	改訂案	現行			改訂案	現行	改訂案	現行	改訂案		

※ ●は、みやざき共創都市圏ビジョンに設定している指標。
※ 下線は、あらたに総合戦略に設定した指標。

基本目標	重点項目	重点目標			主要施策	KPI		
		名称	現況値	目標値		名称	現況値	目標値
					○ 地域人材や産業界と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる小・中学校の割合	小学生 75.0% 中学生 100% (2016)	小学生 91.6% 中学生 100% (2022)	
					○ 学校支援ボランティアの人数	10,096人 (2016)	11,000人 (2022)	
					○ 地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学生 68.5% 中学生 43.4% (2016)	小学生 71.0% 中学生 48.0% (2022)	
2 多様で自律性のあるコミュニティを形成する「地域力の向上」	○ 協働で行われている事業の数	309事業 (2016)	330事業 (2022)	1 地域コミュニティの活性化	○ 自治会加入率	56.0% (2017)	61.5% (2022)	
		○ 移住センターが関与した移住世帯の3年後の定着率	—		80.0% (2022)	○ 地域まちづくり推進委員会の委員数	2,162人 (2017)	2,400人 (2022)
					○ 地域魅力発信プランの実現率	—	90.0% (2022)	
					○ 市民活動センターの新規登録団体数	49団体 (2016)	70団体 (2022)	
				2 地域福祉活動の充実	○ 地区社会福祉協議会が実施した地域福祉活動事業の数	302件 (2016)	325件 (2022)	
					○ 民生委員・児童委員の充足率	96.4% (2017)	99.0% (2022)	
				3 高齢者の生きがいの場の創出	○ さんさんクラブ活動延べ参加者数	160,749人 (2016)	170,000 (2022)	
					○ シニア応援ボランティアの登録者数	485人 (2016)	965人 (2022)	
				4 地域防災の推進	○ 自主防災組織の結成率	84.8% (2016)	87.5% (2022)	
					○ 消防団員充足率	95.1% (2016)	97.0% (2022)	
					○ 市の登録料の助成を受けた防災士の数	83人 (2016)	95人 (2022)	
					○ 出前講座(防災講座)の参加者数	15,669人 (2016)	21,000人 (2022)	
				5 移住・定住対策の推進	○ 移住センターが関与した移住世帯数【累計】	38世帯 (~2016)	190世帯 (~2022)	
					○ 移住センターにおける移住希望者の相談件数	622件 (2016)	750件 (2022)	
					○ 移住アンバサダーの登録件数	6件 (2016)	90件 (2022)	
3 一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」	○ 「一人一人がお互いを理解し、尊重し合う社会である」と思う人の割合	35.4% (2017)	40.0% (2022)	1 人権尊重・男女共同参画の推進	○ 市男女共同参画センター利用者数	13,564人 (2016)	14,900人 (2022)	
		○ 文化芸術を通して、心豊かに暮らす人の割合	46.8% (2017)		50.0% (2022)	2 生涯学習の機会の提供	○ 市が設置する審議会、委員会等における女性委員の割合	27.3% (2016)
	○ 「スポーツ等の運動に親しめる環境にある」と思う人の割合	49.3% (2017)	60.3% (2022)	○ 公民館講座の受講者数	10,894人 (2016)		11,320人 (2022)	
		○ 生涯学習活動による公立公民館等の利用者数	395,614人 (2016)	411,000人 (2022)	○ 生涯学習ボランティア指導者による出前講座の参加者数		9,218人 (2016)	9,600人 (2022)
				3 文化芸術の振興や市民スポーツの推進	○ 市立図書館等の貸出冊数	1,038千冊 (2016)	1,085千冊 (2022)	
					○ 市民が企画運営する文化イベントに係る参加者数	23,386人 (2016)	25,200人 (2022)	
					○ 民俗芸能登録団体数	64団体 (2016)	66団体 (2022)	

基本目標	重点項目	重点目標				主要施策	KPI							
		名称	現況値		目標値		名称	現況値		目標値				
			現行	改訂案	現行			改訂案	現行	改訂案	現行	改訂案		
					3-5 地域コミュニティの活性化	○ 地域まちづくり推進委員会の委員数	2,100人 (2014)	2,162人 (2017)	2,700人 (2019)	2,250人 (2019)	○ 地域魅力発信プラン実現のために新たな事業に取り組む地域自治区数	—	全地域自治区 (2016)	全地域自治区 (2019)
						● 自治会加入率	56.2% (2015)	56.0% (2017)	60.2% (2019)	58.5% (2019)				
					3-3 防災対策の推進	● 自主防災組織の結成率	81.4% (2014)	84.8% (2016)	85.0% (2019)	86.0% (2019)	○ 消防団員充足率	94.9% (2014)	95.1% (2016)	97.0% (2019)
						○ 市の登録料の助成を受けた防災士の数		83人 (2016)		95人 (2019)				
					3-6 移住・定住対策の推進	● 移住センターが関与した移住世帯数【累計】	—	38世帯 (2015~2016)	100世帯 (2015~2019)		● 移住センターにおける移住希望者の相談件数	12件 (2014)	622件 (2016)	115件 (2019)

※ ●は、みやざき共創都市圏ビジョンに設定している指標。
※ 下線は、あらたに総合戦略に設定した指標。

基本目標	重点項目	重点目標			主要施策	KPI				
		名称	現況値	目標値		名称	現況値	目標値		
3 良好な就業環境が確保されている都市(まち)	1 地域や企業ニーズに合った「人材の育成」	○ 県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率	高校 56.8% (2016)	高校 65.0% (2022)	1 キャリア教育や学び直しの場の提供	○ スポーツ施設の利用者数	742,149人 (2016)	748,000人 (2022)		
			大学等 48.2% (2016)	大学等 53.3% (2022)		○ 全国スポーツ大会に出場した児童生徒数	788人 (2016)	950人 (2022)		
						○ 海外の姉妹(友好)都市交流事業における交流者数【累計】	2,850人 (~2016)	2,970人 (~2022)		
						○ 宮崎市国際交流協会が開催する講座等の参加者数	2,264人 (2016)	2,560人 (2022)		
				○ 市が支援する地元定着事業を活用した地元就職を希望する学生(県内出身者)の増加率	—	20.0% (2022)	2 地域や企業ニーズに対応した人材の育成等	○ 市が支援する就職セミナー等を受講して就職した人の数【累計】	56人 (~2016)	255人 (~2022)
					○ 高度ICT技術者新規雇用者数	—		17人 (2022)		
				3 農林水産業の担い手の育成			○ 新規就農者数	98人 (2016)	50人 (2022)	
					○ 新規林業就業者数	11人 (2016)		10人 (2022)		
					○ 新規漁業就業者数	4人 (2016)		4人 (2022)		
				4 地元企業への就職を促す仕組みの構築			○ 就職説明会参加者のうち就職決定者数	112人 (2016)	150人 (2022)	
		○ 雇用・人材アプラインストール数【累計】	4,112件 (~2016)		21,000件 (~2022)					
2 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」		○ 正規雇用者数	98,500人 (2012)	98,500人 (2022)	1 農林水産業の生産基盤の確立	○ 農業産出額	384億円 (2015)	370億円 (2022)		
			○ 市内の女性の有業率	50.8% (2012)		51.2% (2022)	○ 農業経営体数	3,734経営体 (2015)	3,250経営体 (2020)	
			○ 市内の60歳以上70歳未満の有業率	51.7% (2012)		58.0% (2022)	○ 水揚高	13.1億円 (2016)	15億円 (2022)	
				2 企業立地と設備投資の促進	○ 製造品出荷額	2,077億円 (2014)	2,363億円 (2022)	○ 立地企業数	14件 (2016)	10件 (2022)
					○ 立地企業における新規雇用予定者数	936人 (2016)	280人 (2022)			
					3 中小企業等の経営力の向上	○ 年間商品販売(小売・卸売)額	13,090億円 (2016)		13,090億円 (2022)	○ 創業支援事業計画に基づく創業者数【累計】
				○ 市が支援した事業承継等の件数【累計】	—	60件 (~2022)				
				4 新商品や新技術等の開発	○ 6次産業化関連補助事業活用事業者数	7件 (2016)	5件 (2022)	○ 市が支援した企業と大学等の研究機関との共同取組事例数	3件 (2016)	
				5 中心市街地の機能の充実	○ 中心市街地におけるクリエイティブ産業従業者の増加数【累計】	999人 (~2016)	2,550人 (~2022)			

基本目標	重点項目	重点目標				主要施策	KPI							
		名称	現況値		目標値		名称	現況値		目標値				
			現行	改訂案	現行			改訂案	現行	改訂案	現行	改訂案		
II 良好な就業環境を確保する	4 地域や企業ニーズに合った「人材の育成」	○ 県内就職した新規学卒者の3年以内の離職率	高校 48.3% (2014)	高校 43.9% (2016)	大学 40.7% (2014)	大学 41.6% (2016)	4-1 キャリア教育・学び直しの場の提供	● 県内高校生の県内大学・短大への進学率	30.2% (2014)	28.9% (2016)	33.0% (2019)	30.4% (2019)		
					高校 40.0% (2019)	高校 32.0% (2019)			○ 市の支援する地元定着事業を活用した地元就職を希望する学生(県内出身者)の増加率	—	—	—	15.0% (2019)	
					高校 65.0% (2019)	高校 53.3% (2019)			○ 市が支援する就職セミナー等を受講して就職した人の数【累計】	—	56人 (2015~2016)	100人 (2015~2019)	180人 (2015~2019)	
					○ 高度ICT技術者新規雇用者数【累計】	—			—	50人 (2017~2019)	51人 (2017~2019)			
				● 県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率	高校 54.2% (2014)	高校 56.8% (2016)	大学 48.5% (2014)	大学 48.2% (2016)	4-2 地域や企業ニーズに対応した人材の育成等	○ 市が支援する就職セミナー等を受講して就職した人の数【累計】	—	—	—	—
					○ 新規就農者数【累計】	56人 (2014)	199人 (2015~2016)	250人 (2015~2019)			350人 (2015~2019)			
				4-3 新規就農者・農業法人の育成			○ 就職説明会参加者のうち就職決定者数【累計】	132人 (2014)	217人 (2015~2016)	150人 (2019)	628人 (2015~2016)			
					● 雇用・人材アプラインストール数【累計】	—		4,112件 (2015~2016)	12,000件 (2015~2019)					
				5 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」	● 正規雇用者数	98,500人 (2012)	98,500人 (2017)	5-1 農林水産業の生産基盤の確立	● 農業産出額	370億円 (2014)	384億円 (2015)	370億円 (2019)		
					○ 市内の女性の有業率	50.8% (2012)	51.0% (2017)			5-2 企業立地と設備投資の促進	● 製造品出荷額	2,212億円 (2012)	2,077億円 (2014)	2,306億円 (2019)
		○ 市内の60歳以上70歳未満の有業率	51.7% (2012)		56.0% (2017)	● 立地企業数【累計】	11件 (2014)					26件 (2015~2016)	50件 (2015~2019)	
		○ 立地企業における新規雇用予定者数【累計】	—		936人 (2016)	840人 (2017~2019)								
		5-3 創業や事業承継等の促進	● 創業支援事業計画に基づく創業者数【累計】		80人 (2014)	228人 (2015~2016)	750人 (2015~2019)			678人 (2015~2019)				
			○ 市が支援した事業承継等の件数【累計】	—	—	30件 (2017~2019)								
		5-4 新商品・新技術等の開発	● 6次産業化関連補助事業活用事業者数【累計】	5件 (2014)	10件 (2015~2016)	15件 (2015~2019)	25件 (2015~2019)							
			○ 市が支援した企業と大学等の研究機関との共同取組事例数【累計】	—	3件 (2016)	9件 (2017~2019)								
		5-5 中心市街地の創出	● 中心市街地におけるクリエイティブ産業従業者の増加数【累計】	—	999人 (2015~2016)	1,700人 (2015~2019)	1,696人 (2015~2019)							

※ ●は、みやざき共創都市圏ビジョンに設定している指標。
 ※ 下線は、あらたに総合戦略に設定した指標。

基本目標	重点項目	重点目標			主要施策	KPI						
		名称	現況値	目標値		名称	現況値	目標値				
4 魅力ある価値が創出されている都市(まち)	1 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」	○ 宿泊者数	2,346千人(2016)	2,800千人(2022)	1 宮崎らしさを生かした取組の推進	○ 外国人宿泊者数	152,500人(2016)	230,000人(2022)				
			○ 観光消費額	844.8億円(2016)		910億円(2022)	○ MICE延べ参加者数	83,231人(2016)	105,000人(2022)			
				○ 観光入込客数		6,391千人(2016)	6,700千人(2022)	2 景観づくりの推進	○ フローランテ宮崎の入場者数	371,000人(2016)	375,000人(2022)	
		○ 観光入込客数	6,391千人(2016)	6,700千人(2022)	○ 花と緑の推進事業参加者数	1,260人(2016)	1,310人(2022)					
					○ 景観啓発事業参加者数	1,600人(2016)	1,600人(2022)					
					○ 屋外広告物の許可申請率	77.5%(2016)	80.5%(2022)					
		3 スポーツランドみやざきの推進	○ プロ野球キャンプ来場者数	494,700人(2016)	750,000人(2022)	○ プロゴルフトーナメント来場者数	36,285人(2016)	50,000人(2022)				
				○ Jリーグキャンプチーム数	13チーム(2016)		14チーム(2022)	○ スポーツ合宿宿泊者数	138,600人(2016)	165,000人(2022)		
					○ 県外観光客のリピーターの割合		56.9%(2016)		62.0%(2022)	○ 道の駅フェニックスの来場者数	563,929人(2016)	620,000人(2022)
							○ 国内外の市場開拓		○ 農畜産物のブランド認証品の売上額		79.7億円(2016)	80億円(2022)
5 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市(まち)	1 コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」	○ 「良好な市街地が整備され、都市機能がコンパクトにまとまっている」と思う人の割合	44.8%(2017)	45.0%(2022)	1 都市機能の集約化	○ 総人口に対する用途地内の人口の割合	84.3%(2015)	84.7%(2020)				
			○ 「公共交通の利便性が確保されている」と思う人の割合	22.4%(2017)		29.9%(2022)	2 広域公共交通網の構築	○ 主要バスターミナルにおける路線バス乗降客数	1,445千人(2016)	1,469千人(2022)		
				○ JR九州の主要3駅(宮崎駅・南宮崎駅・宮崎空港駅)における一日あたりの平均乗客数(人)		7,600人(2016)		7,700人(2022)				
○ 宮崎空港路線利用者数	3,061千人(2016)	3,250千人(2022)										

基本目標	重点項目	重点目標				主要施策	KPI						
		名称	現況値		目標値		名称	現況値		目標値			
			現行	改訂案	現行			改訂案	現行	改訂案	現行	改訂案	
III 魅力ある価値を創出する	6 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」	● 宿泊者数	2,277千人(2013)	2,346千人(2016)	2,800千人(2019)		6-1 宮崎らしさを生かした取組の推進	○ MICE延べ参加者数	136,703人(2013)	83,231人(2016)	150,000人(2019)	90,000人(2019)	
			○ 観光消費額	844.8億円(2016)		860億円(2019)		○ 外国人宿泊者数	100,300人(2013)	152,500人(2016)	200,000人(2019)		
				● 観光入込客数	5,845千人(2013)	6,391千人(2016)			6,500千人(2019)				
		6-2 スポーツランドみやざきの推進	● プロ野球キャンプ来場者数	713,440人(2014)	494,700人(2016)	750,000人(2019)	640,000人(2019)						
			● プロゴルフトーナメント来場者数	45,699人(2014)	36,285人(2016)	50,000人(2019)	42,500人(2019)						
			○ Jリーグキャンプチーム数	11チーム(2014)	13チーム(2016)	12チーム(2019)	14チーム(2019)						
		6-3 観光客受入環境の充実	● スポーツ合宿宿泊者数	128,600人(2013)	138,600人(2016)	150,000人(2019)							
			● 県外観光客のリピーターの割合	56.9%(2016)		59.0%(2019)							
		6-4 国内外の市場開拓	○ 国内外における物産展の売上額	4,322万円(2014)	3,325万円(2016)	4,500万円(2019)	1,800万円(2019)						
			● 農畜産物のブランド認証品の売上額	54.2億円(2014)	79.7億円(2016)	60億円(2019)	80億円(2019)						
○ みやざき特産品の販路拡大支援事業で開催した商談会等における成約件数【累計】	-		30件(2017~2019)	45件(2017~2019)									
IV 地域特性に合った社会基盤を確保する	7 「広域公共交通網の構築とインフラの維持・整備」	○ 公共交通の利便性が確保されていると思う人の割合	37.7%(2014)	22.4%(2017)	40.0%(2019)	25.4%(2019)	7-1 都市機能の集約化	● 「良好な市街地が整備され、都市機能がコンパクトにまとまっている」と思う人の割合	24.9%(2014)	44.8%(2017)	30.0%(2019)	45.0%(2019)	
			7-2 広域公共交通網の構築	● 主要バスターミナルにおける路線バス乗降客数	1,435千人(2014)	1,445千人(2016)		1,543千人(2019)	1,459千人(2019)				
				● 宮崎空港路線利用者数	2,860千人(2014)	3,061千人(2016)		3,100千人(2019)					
● フェリー旅客数	166,693人(2014)	178,623人(2016)	199,000人(2019)	189,000人(2019)									

※ ●は、みやざき共創都市圏ビジョンに設定している指標。
 ※ 下線は、あらたに総合戦略に設定した指標。

基本目標	重点項目	重点目標			主要施策	KPI		
		名称	現況値	目標値		名称	現況値	目標値
					○ フェリー旅客数	178,623人 (2016)	200,000人 (2022)	
					3 物流体制の確保	○ 宮崎港の取扱貨物量	7,535千t (2016)	7,996千t (2022)
						○ 中央卸売市場の取扱金額	407億円 (2016)	400億円 (2022)
					4 公共施設や交通インフラの維持・整備	○ 「公共施設サービスが質、量ともに適切に提供されている」と感じている人の割合	37.9% (2017)	50.4% (2022)
						○ 都市計画決定道路(市道)の改良延長	113.8km (2016)	116.3km (2022)
						○ 老朽化等により早期に対策が必要と判断された橋梁の修繕割合	13.3% (2016)	44.0% (2022)

基本目標	重点項目	重点目標				主要施策	KPI							
		名称	現況値		目標値		名称	現況値		目標値				
			現行	改訂案	現行			改訂案	現行	改訂案	現行	改訂案		
					7-3 物流体制の整備					● 宮崎港の取扱貨物量	7,789千t (2014)	7,535千t (2016)	8,950千t (2019)	7,762千t (2019)

※ ●は、みやざき共創都市圏ビジョンに設定している指標。
 ※ 下線は、あらたに総合戦略に設定した指標。